

# 「大雪対策で国の制度改善求めよ」

## 橋爪議員の一般質問

橋爪議員は、大雪などの災害対策について市長の姿勢をたずねました。

同議員はまず、「豪雪の際の災害救助法適用では、対象となる除雪範囲の拡大や一世帯当たり上限額の引き上げ、申請の簡素化を政府などに働きかけるべきだ」とたずねました。

これに対して市長は、「災害救助法は、“応急的に最低限必要な場所”の確保が対象であり範囲の拡大は難しい。一方、市の制度は生活の安全確保と福祉の増進に寄与することを目的にしており対象が広いので、両制度を併用することにより、必要な除雪が可能だ」と答えました。また、申請の簡素化に関しては、「国は、除雪作業前後の写真の添付を必須事項とした」と答えました。橋爪議員はこれを受けて、「国に対して改善を求めよ」と迫りましたが、市長は、「写真の添付の省略を強く求めたがかなわなかった。こうしたことすら変えられない中で、他の事項を変えるのは困難だ」と答え、消極的な姿勢にとどまりました。

橋爪議員は次に、大雪への対策強化のポイントの一つとして、除雪協力事業者の確保について、進捗状況をたずねました。

市長は、「協力事業者は当初の299の他に新たに51事業者から協力申出をいただいた。その後、市だけでなく商工会議所と商工会の協力も得て登録を呼び掛けた。11月中には事業者一覧を配布したい」と答えました。

橋爪議員は、「事業者は350で十分なのか」と重ねてたずねたところ、担当者は、「実際に作業に当たった600を超える事業者にも声をかけたい。また、所在地だけでなく、担当できる地区を入れた表にしたい」と答えました。

次に橋爪議員は、公共施設のあり方について、「運営には市民が積極的に関わることが重要だが、施設のあり方問題の根底には人口減がある。人口減少はやむなしという姿勢に立つべきではない」と指摘しました。

ところが市長は、「高齢化した上越でどうやって人口を増やすのか。増加に転ずることには考えが及ばない」として、対策を放棄するような姿勢を示しました。



# 「複合的な原子力災害時は即避難とすべきだ」

## 平良木議員の一般質問

平良木議員は、原子力災害時の避難体制について市の姿勢をたずねました。

同議員はまず、市の地域防災計画にある原子力災害事前対策の進捗状況をたずねました。

市長は、「進捗は項目ごとに

様々で、大雪と原子力災害が複合発生した場合の対応など、本格的な議論はこれからというものもある」と答え、課題を残していることを明らかにしました。

次に平良木議員は、「複合災害時の屋内退避は危険性が高まるため、即時に避難とすべきだ」とたずねました。

これに対して市長は、「原子力災害では、市町村を超える住民の広域避難も想定されており、広域避難を円滑に行うため、

段階的な避難行動をとれるようにしているのでは、30km圏内はまず屋内退避としている」と答えました。しかし、これは受入れや誘導の都合を優先する姿勢であり、市民の安全第一とは言えないのではないのでしょうか。

このほか、平良木議員は、コロナ禍で保護者が感染した場合の子どもらへの支援体制などについてたずねました。

これに対して市長は、「ケースに応じた支援を行う」など、抽象的な答弁にとどまりました。

# 低所得者向けの定額給付金の支給など要請



# 日本共産党議員団が第7次申入れ

9月7日、日本共産党議員団は、新型コロナ対策として、低所得者向けの定額給付金の支給や小規模事業者への支援などを求める申入れを行いました。

20業者、今年はそれ以上に廃業に追い込まれている。市としてぜひ支援を」と熱を込めて訴えました。

等との取引がないなどの要因で十分に困窮状況が把握されていない小規模事業者の状況を的確に把握し、支援に取り組むこと。

5 市として、低所得者向けの定額給付金を支給すること。  
6 住宅リフォーム促進事業についても、抽選漏れの人も含めて申込者全員を助成対象にできるように、補正予算を組むこと。



7日の申入れ。左から、平良木議員、いざわ健さん、橋爪議員、上野議員、笹川総務管理部長

- 1 ワクチンの追加接種（ブースター）と一体に、「大規模・頻回・無料」のPCR検査を行って、感染者の早期確認、保護を進め、それによって経済の活性化を図ることができるとするよう、国に強く求めること。
- 2 PCR検査については、感染伝播の鎖を断つための大規模検査を「いつでも、誰でも、何度でも、無料で」の立場で、市独自に大胆かつ大規模に行うこと。
- 3 国に対して、持続化給付金と家賃支援金の再支給を強く求めること。
- 4 飲食店を中心に、銀行

上越保健所管内感染症発生状況 (10月8日現在)	
PCR検査実施件数	21,660件(前週+167)
管内陽性件数	342件(前週+3)
上越市内陽性件数	305件(前週+3)
陽性率	1.579%(前回1.577%)

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.727 2021年10月17日

連 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))